

Q2、Q3、Q4 の主な意見

■Q2 主な意見

- ・ コンビニ等で廃棄される大量の調理パン等を見ていたので、再利用については賛成。後は、安全性ですが、人向けに作られていたものなので大丈夫なのでは…と思う
- ・ 食品が漠然としているので添加物等入っていないか心配
- ・ それを実行するための様々な課題解決が先決
- ・ 危険な食品添加物、遺伝子組換え食品(ゲノム編集食品)が含まれているかも生産者・消費者共、どういう餌で育てるか、育ったか、知る権利がある
- ・ もちろんどうしても廃棄されてしまう食品を活用するのはよいことだが、飼料や肥料になるのだから廃棄しても問題ないという考え方になるのが怖いし、商業ベースにして採算をとるために食品廃棄を確保するという事に陥るような気がする
- ・ 総論賛成。出自に対する懸念等は各論で議論、定めていけばよいと思う
- ・ 良いことだとは思いますが、飼料や肥料になり得るか選別が重要だと思う
- ・ 飼料に回す食品ロスの基準と検査体制を明確にし、推進すればよいのではないか
- ・ 食品ロス削減は喫緊の課題で、リサイクルループの構築も重要とは思いますが、何より先に、あらゆる場面でロスを生み出さない構造に変えていくことが求められると考える
- ・ ロスしそうな食品の利用「安く販売」「貧困家庭に提供する」等のシステムを作ることが重要(欧米ではこのようなシステムはできているのではないのでしょうか)。その後、農畜産物の生産に資するようになる
- ・ 「リサイクルループ」の仕組みを、関心持ってみていきたい
- ・ リサイクルループで、どのくらい食品廃棄物の質が保障されるのか？廃棄物の質が良くなければ、使える飼料・肥料にはならないので

■Q3 主な意見

- ・ プラスチックの全廃が可能かどうか
- ・ 今の段階で全てプラスチックの使用禁止はできないと思う。まずは削減、リサイクルではないか
- ・ 全世界で製造規制、廃棄規制、リサイクル、代替素材開発と導入をしつつ、個人の意識改革を促し、マイカップ、マイ容器持参など、様々な工夫を同時進行で、複合的、継続的に意識して取り入れることが必要と感じています
- ・ 実施のための対策を最低限のルール作り
- ・ 生態系にも問題が出ている
- ・ 小学校でその意義を説明し、なるべくプラスチック製品を使わないように指導してほしい
- ・ 海洋プラごみは「容器」だけではないと思う。その対策も必要

- ・ プラスチックは海洋プラの問題だけではなく、長期的には脱炭素などの視点からもある程度の脱プラ・代替を視野に検討する必要がある
- ・ プラスチックに変わる資材の開発や置き換えが必要
- ・ 代替素材として紙製のものも取り入れている企業もある
- ・ 個人も企業も国も努力しなければ
- ・ 行政より企業の負担を大にすべき
- ・ 責任は誰？ 根本的な見直しが必要？
- ・ ごみ分別は個人が気をつけるべき
- ・ 企業と行政任せではいけない。消費者も共にだと思える
- ・ 各自使用をやめる
- ・ EPR の強化と共に、消費者への意識向上の為の改革も必要

■Q4 主な意見

- ・ ここまで海洋汚染が進んでしまっているのに、対応は鈍すぎると感じる。先進国のリーダーシップ、思い切った対策が最も必要ではないか
- ・ 海・山・空中に漂う、早急に専門家の意見を参考にして政策を
- ・ その間の各国の取り組みをチェックしながら達成可能な対策を
- ・ 現実にゼロは難しいが、ゼロに近づける努力は必要
- ・ どのような対策で「ゼロ」にしようとしているのか分からない
- ・ 地球温暖化も踏まえ、この問題だけでは解決は難しい？
- ・ 全世界的な問題なので早急な取り組みにしてほしい
- ・ 1日でも早く着手すべき
- ・ もっと早くすべき
- ・ 対応策が遅い状況だと思います。結論は誰でも言えます
- ・ 小さなことからでも、即、取り掛かるべき課題。絵に描いた餅